

直流高压校正装置

HVM - 1002D

取扱説明書

- S O U K O U -

本社，工場 〒529-1206 滋賀県愛知郡愛荘町蚊野 215
TEL 0749 37 3664 FAX 0749 37 3515
東京営業所 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町三友ビル 6F
TEL 03 3258 3731 FAX 03 3258 3974

営業的なお問合せ：sell-info@soukou.co.jp
技術的なお問合せ：tec-info@soukou.co.jp
URL：<http://www.soukou.co.jp>

[第2版]

目 次

安全にご使用いただくために	2
1 . 仕様	3
2 . 各部名称	4
3 . 電圧計の校正方法	6
4 . 電流計の校正方法	7
外形図	8

安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくため、試験装置をご使用になる前に、次の事項を必ずお読み下さい。
また、仕様に記されている以外で使用しないで下さい。
試験装置のサービスは、当社専門のサービス員のみが行えます。
詳しくは、(株)双興電機製作所にお問い合わせ下さい。

人体保護における注意事項

- | | |
|---------------------|---|
| 感電について | 人体や生命に危険が及ぶ恐れがありますので、各測定コードを接続する場合は、十分気をつけて接続して下さい。
測定中、検出部には高電圧(最大DC 100kV)を印加していますので、十分注意して下さい。
必ず接地を確認して試験を行って下さい。 |
| 電氣的な過負荷 | 感電または、発火の恐れがありますので、測定入力には指定された範囲外の電圧、電流を加えないで下さい。 |
| パネルの取り外し | 試験装置内部には電圧を印加、発生する箇所がありますので、パネルを取り外さないで下さい。 |
| 適切なヒューズの使用 | 発火等の恐れがありますので、指定された定格以外のヒューズは使用しないで下さい。 |
| 機器が濡れた状態での使用 | 感電の恐れがありますので、機器が濡れた状態では使用しないで下さい。 |
| ガス中での使用 | 発火の恐れがありますので、爆発性のガスがある場所では使用しないで下さい。 |

機器保護における注意事項

- | | |
|------------------|---|
| 電 源 | 指定された範囲外の電圧を印加しないで下さい。 |
| 故障と思われる場合 | 故障と思われる場合は、必ず(株)双興電機製作所または、販売店までご連絡下さい。 |

1 . 仕様

(1) 使用電源 : AC100V ± 1 0 % 50/60Hz

電圧計校正

(2) 最高測定電圧 : DC100kV
(3) 入力抵抗 : 6 G ± 1 %
(4) 表示分解能 : 10V
(5) 測定精度 : ± 0 . 5 %rdg ± 10dgt
* 測定電圧 1 k V 以上
(6) 表示形式 : 4・1/2 桁 LCD

電流計校正

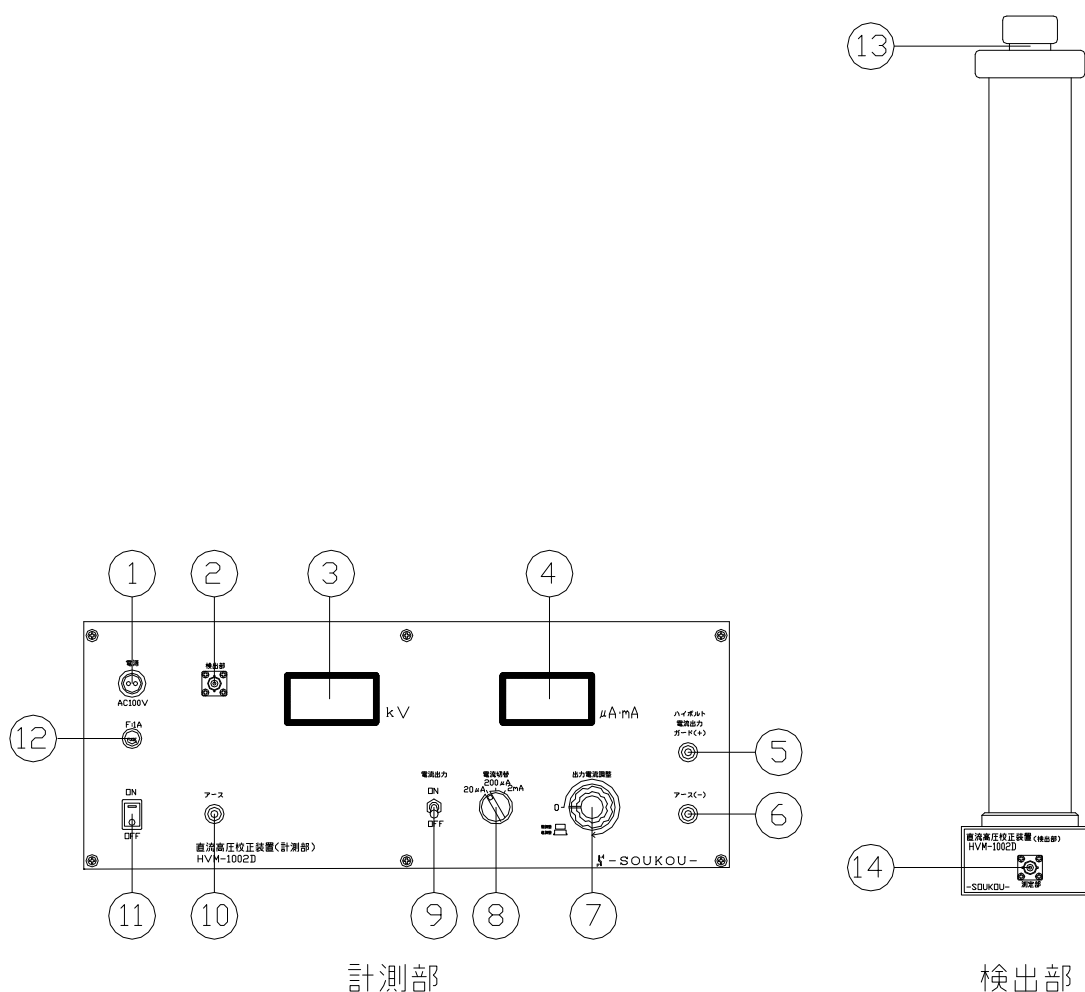
(7) 出力電流 : DC20 μ A / 200 μ A / 2mA
(8) 最大負荷インダクタンス : 3 0 k (2 0 μ A / 2 0 0 μ A), 1 5 k (2 mA)
(9) 表示分解能 : 0.001 μ A / 0.01 μ A / 0.0001mA
(1 0) 測定精度 : ± 0 . 5 %rdg ± 10dgt
(1 1) 表示形式 : 4・1/2 桁 LCD

(1 2) 使用温度範囲 : 2 5 ± 1 0
(1 3) 外形寸法 : 1 0 0 (D) × 1 0 0 (W) × 6 5 0 (H) (検出部)
4 1 0 (D) × 7 4 0 (W) × 2 6 0 (H) (計測部 , 検出部収納)
(1 4) 重 量 : 約 1 6 k g * 検出部収納時
約 5 k g * 検出部のみ

(1 5) 付属品

検出部支持板..... 2 枚
検出部-測定部渡りコード 5 m..... 1 本
接地コード 5m 1 本
接地渡りコード 5m 1 本
電源コード 3 m..... 1 本
電流出力コード 5 m..... 1 本
取扱説明書 (本書)..... 1 部

2. 各部名称



1. 電源コネクタ

電源の入力用のコネクタで、AC100Vの電源を供給します。

2. 検出部渡りコネクタ

電圧計校正時に検出部の計測部渡りコネクタと接続します。

3. 電圧計

検出部に印加している電圧値を表示します。

4. 電流計

電流出力端子から出力している電流値を表示します。

5. ガード端子 (+)

プラス極の電流出力端子です。電流計校正時に直流高圧発生装置のガード端子と接続します。

6. アース端子 (-)

マイナス極の電流出力端子です。電流計校正時に直流高圧発生装置のアース端子と接続します。

7. 出力電流調整ツマミ

電流計校正時に出力する電流を調整します。上が微調整で下が粗調整です。

8. 電流切替スイッチ

出力する電流のレンジを切替えます。

- 9. **電流出力スイッチ**
電流の出力スイッチで、“ON”で電流出力端子から電流を出力します。
- 10. **アース端子**
電圧計校正時に直流高圧発生装置のアース端子と接続します。
- 11. **電源スイッチ**
本装置のメインスイッチです。
- 12. **電源ヒューズ(1A)**
電源回路の保護ヒューズです。
- 13. **高電圧印加部**
電圧計校正時に直流高圧発生装置の高圧出力コードを接続します。
- 14. **計測部渡りコネクタ**
電圧計校正時に計測部の検出部渡りコネクタと接続します。

3 . 電圧計の校正方法

1) 『図1：電圧計校正の接続』を参照し接続して下さい。

****注意****

- ・感電の恐れがあるため、それぞれのコードの接続は確実に行って下さい。
- ・直流高圧発生装置のアース端子は絶対に接地するようにして下さい。
- ・直流高圧発生装置の電流計切替スイッチは“SHORT”レンジにして下さい。

- 2) 電源スイッチを“ON”にして下さい。
3) 直流高圧発生装置の電源スイッチを“ON”にし、高圧出力スイッチも“ON”にして下さい。
4) 電圧計を確認しながら、直流高圧発生装置の電圧調整つまみを回し、高電圧を出力して下さい。

****危険****

検出部には高電圧を印加しています。感電には十分注意して下さい。

- 5) 電圧計の校正を行います。
6) 校正が終われば、直流高圧発生装置の高圧出力スイッチを“OFF”にして下さい。
7) 電圧計の表示が“0”になっていることを確認し、本装置と直流高圧発生装置の電源スイッチを“OFF”にして下さい。

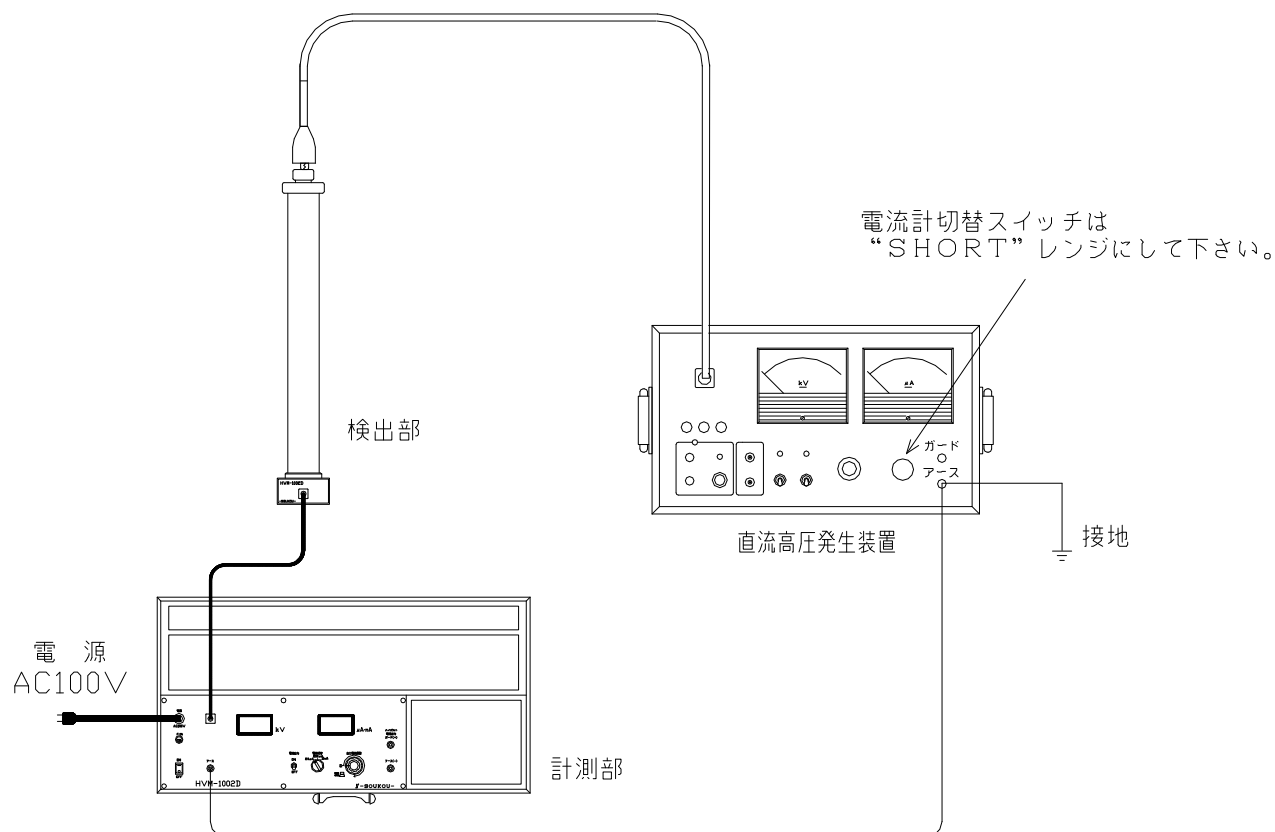


図1：電圧計校正の接続

4 . 電流計の校正方法

1) 『図2：電流計校正の接続』を参照し接続して下さい。

****注意****

電流計の校正では、直流高圧発生装置の電源スイッチを“OFF”にして行います。

- 2) 電源スイッチを“ON”にして下さい。
- 3) 電流出力スイッチを“ON”にして下さい。
- 4) 校正を行う電流値に合わせて、電流切替スイッチを切替えて下さい。
- 5) 電流計を確認しながら、電流調整ツマミを回して電流を出力して下さい。
- 6) 電流計の校正を行います。
- 7) 校正が終われば、電流出力スイッチを“OFF”にして下さい。
- 8) 電源スイッチを“OFF”にして下さい。

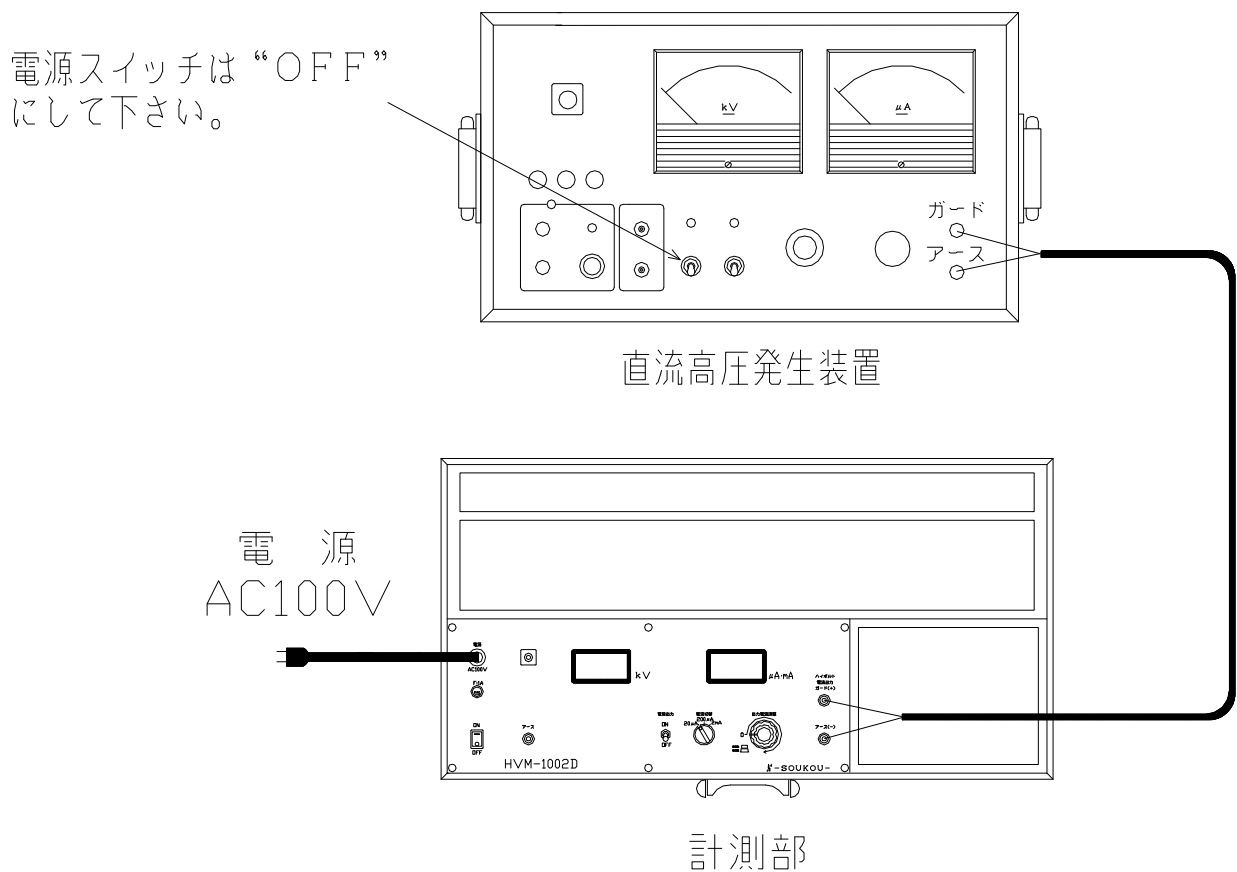


図2：電流計校正の接続

外形図

